

### 3 学期始業式 式辞 令和7年1月9日（木）

今年の青森県内は例年よりも雪が多く、ここ八戸でも、普段より積雪が多い  
と思っていることでしょう。皆さんおはようございます。また、新年あけまし  
ておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、今年は「巳年<sup>みどし</sup>」ですね。巳年は、「成長」や「変革」の年とか、「復活  
と再生の象徴」のヘビのイメージから、新しいことが始まる年、努力を重ね、  
物事を安定させていく年、金運・財運のご利益や、今までの学びや努力の成果  
が一気に極限まで伸びると云われる縁起の良いモチーフとなっています。皆  
さんにとって「今までの学びや努力の成果が一気に極限まで伸びる」そういう  
年となって欲しいと願います。ちなみに、<sup>えと</sup>干支がある国は、中国、モンゴル、  
北朝鮮、韓国、台湾、ベトナム、マレーシア、タイ、カンボジア、ラオス、ネ  
パール、ブータンなどにあり、東南アジアの国々やチベットの十二支は、ウサ  
ギの代わりに猫、猪の代わりに豚が入るそうです。

さて、今回は、コネクティング・ザ・ドッツということ話をします。「ドッ  
ツ」とは点という意味です。

新年早々恐縮ですが、自分の話をしたいと思います。自慢話に聞こえたとし  
たら、すみません。そういうつもりはありませんので。

私も元々は教諭です。以前は授業をしていました。それでは、教科は何でし  
ょうか？ 1年生の1部の生徒は分かると思いますが。（間） 教科は英語です。  
英語に興味を持ったのは、中学生の時、「ゴダイゴ」という5人組のバンドで、  
ボーカルのタケカワユキヒデさんが英語で歌っているのを聴いて興味を持ち  
ました。当時は、「西遊記」というドラマがはやり、そのエンディングに「ガ  
ンダーラ」という曲がありました。歌詞は「インガンダーラ、ガンダーラ、They  
say it was in India」というのがあり、そうか「ガンダーラはインドにあっ  
たのか」と思っていました。それで、ガンダーラやインドに興味が湧きました。

それから英語を一生懸命勉強したことを覚えていますし、海外に行きたいという気持ちが大きくなりました。それでは、なぜ先生になったのでしょうか？

（間）それは、小、中、高校と良い先生に出会ったからです。先生になって、担任になり、何度かクラスを持ちました。最後に３年生まで持ち上がったクラスのクラス会、三本木高校でしたが、この冬休みにクラス会あり、十和田市で行われました。彼らは、高校を卒業して１０年経ち、２８歳、それぞれ立派な職業人となっていました。その中で、「MR（メディカル・リプレゼンテティブ）医薬情報担当者になった人がいました。これは、医者や薬剤師の方々に医薬品情報を提供する仕事で、営業職です。自分の会社の医薬品の適正使用や医薬品の品質・有効性・安全性などの情報提供と医者や薬剤師から医薬品の効果や副作用に関する情報を聞いて、自分の会社の新薬開発担当者にそれを伝えるという重要な役割を担っているものです。医者や薬剤師からの信頼を得られなければならないため、医者や薬剤師から信頼を得られるレベルの知識（例えば、病気や医薬品に対する深い専門知識など）が求められ、かつ最新情報を追いつける必要があります。ですから、その会社では、定期的に「化学（ばけがく）」や「医薬品に関する知識」のテストがあり、それに合格しなければならないとのことでした。私のクラスは、文系クラスでしたので「化学」などはあまり得意でない生徒が多かったと思います。今でも苦労しているとのことでした。それでも、高校生時代に勉強に部活動、彼はハンドボール部に所属しキャプテンまでやった人物で、それらの活動を３年間やり遂げたので、「ガッツと要領の良さ」はしっかりとしています。何とかこなしているとのことでした。高校では文系のクラスにいて、大学は経済学部に入ったので、医薬品、化学の学習が今でもある。そういった状態は考えたことはないでしょう。

そして、ガンダーラの話ですが、これには続きがあります。皆さんも世界史でガンダーラことは存じていることでしょう。ここは、始めて仏像が作られ

たところ。つまり、それまでは、お釈迦様等の象徴としては法輪（車輪のようなもの）・菩提樹（樹木です）・仏足石（釈迦の足跡の形を石に彫り込んだもの）などによって象徴的に表現された建造物はありませんでしたが、人の形をして仏像としたのはここ、ガンダーラです。また、高校生の時、地理で気候区分の授業の時、ステップ気候である「ラホール」という地名になぜか惹かれました。

「ラホール」という言葉の響きに惹かれたと思います。そこは、夏は40度を超える地域で、当時の青森の夏は、「お盆過ぎたら海では寒くて泳げない」が当たり前であったので、「大変暑いところだなあ」と思いました。みなさんは、「ムガル帝国」を世界史で習ったと思いますが、自分も高校生の時に習いました。ラホールは「ムガル帝国の首都」で、ムガル帝国時代の建物が数多く残っている場所です。実は、私は21歳の時から2年間、縁あって、このガンダーラやラホールがある、今のパキスタンという国で仕事をするようになりました。それも、あのガンダーラやラホールを日本から来たお客さんに案内することもありました。自分が中学生や高校生の時に歌や写真でしか見たことのないガンダーラやラホール。実際にそこで仕事をするなど思いもしませんでした。パキスタンで使われている言語は、ウルドゥー語と英語、英語が出来れば、仕事や生活は出来ます。世界史で習った南アジアの歴史やイスラム教のこと。地理で習った気候や地図の見方は大変役に立ちました。中学生や高校生の時に抱いた気持ちや知識を思い出しながら、仕事をすることができました。

将来を予想して、点（ここで言う点とは、知識や経験という意味）そういう点と点をつなぐことはできない。後々の人生で振り返ったときにしか点と点をつなぐことはできない。今やっていることが、将来、自身の役に立つ（つまり、点と点が繋がる）と信じて取り組みなさい。

これは、アップル創業者、スティーブジョブズのスタンフォード大学での卒業

式のスピーチの一つです。アップルは、iPhone や iPad を製造しているメーカーですよ。

私が思うことは、3つ。将来はどうなるか分からないのだから、勝手に自分で線引き、後はやらない。例えば自分の限界や やることを決めてしまい、あとは捨ててしまう そういう考えは改めた方がいいと思います。また、興味のあることを見つけ、とことん調べてみる。もう一つは、社会に出て、仕事とは、絶えずアップデートを求められるので、現状に満足せず、一生懸命に自分をアップデートする努力が必要である。そのためには、今、この高校生時代を過去の自分と比べて、日々進化するように毎日懸命に生きることではないでしょうか。一生懸命にやるという習慣がその後の人生に大いに役に立つと思います。そして、比べるのは、過去の自分とですよ。

2025年が、みなさんにとって良い年であること願うと共に、良いスタートが切れるよう、目標を持って努力しましょう。